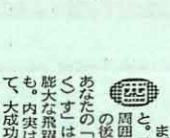
1993.1.1
中日新聞 (第3種郵便物認可)

'93 どり〜む つかもう

ことしの運勢 はばたく年に

<プロフィル>
竹村亞希子
占いの玉手箱代表。講談社テのほか「FRIDAY」、「コケコッコー」、名古屋どで活躍している。



酉

風。とかくこの世は好事魔多し。昨年の運気の章をお忘れなくまたと期待するのは強欲。事を成にあり。身内に心配ごとが。家庭内にトラブル持ちこむと不和の一端にも。慣習面では「別れ」の予兆も……。

戌

順風に恵まれる一年。目先の結果にとらわれず、努力を惜しまめること。「積羽、舟を沈む」。誠実な態度を続けることで信頼感も急伸するはず。すなわち、長袖善く舞い、多銭善く買う。商機期の身内には精婦詰の展開も。怠けぐさえ出さねば成果あり。旅行計画推進して吉。

申

人生最大の好機到来か。迷わずにつかんで、吉。岐に哭く(こく)し、綫に泣く。人の一生は様々。ここでどう選択するかがカギ。協力者の出現にも期待。「燒野の雉子(きぎす)、夜の鶴」。パワーアップ努力が収入に直結。体力の限界を悟ったうえでの行動なら良し。

未

物に必至あり、事に固執あり。大組成就の暗示。すべて行動に余裕が生じれば、失策もなし。交際範囲が拡大し、出費がかさむはずだが「人を益(ほか)りて出ずるを制す」。言葉もカネも、締めるべきは締めることで大事なし。休息心掛ければ安泰。

午

飛躍の一年。周囲を見渡し耳をすます、突発の足音(そくおん)が聞こえるはず。壮大なる計画は早くも達成の可能性も。減算の恋もって、事にあたれば迅速快調に進展。知己、身内の協力もあり。加えて実力者による引き立ても……。心にスキが生じての浮気心のみが最大の敵。

巳

順調。駒虎(きょ)の勢いもまた御し。活動期、多化となり、成果が出る。拡大戦略を採って一気に展開。ただ、好調になれて、足もとに目をやらぬと思わぬ躓(つまず)きも。ツキに乗じされた人物の接近は、自らのツキを手放す要因ともなりかねぬ要注意。

辰

まず「無窮(むきゅう)のひと」であれ。一人で事を成すよりも集団に図ることで失敗回避。地盤を固める。拡大策は控える。特に金銭面での面倒発生の暗示あり。不調不作の一年を位置づけることが肝要かも。ただし、既往は咎(とが)めずの心意気だけは堅持して吉。

卯

まず眠(かい)より始めること。二度寝びは禁物。己を見、周囲を見、しかるのち決断。その後の行動ならば、吉。他人はあなたの「一瑞を見て、金約をし(ほ)す」はず。一つの小さな成果が、膨大な飛躍の時代と映ることも。内実は細心慎重に心掛けて、大成功を挙中に。

寅

午(うま)は、火。西(とり)は、金。火は金を制する図に乗っての軽挙な行動は慎んで、吉。尽を柱(まど)げ、玲(とん)を直(なお)くす。遊大な思いを維持することで目標達成も可能に。要チェックは「病」。持病ありのひと、進行状態の観察を怠ると思わぬ大病にも。

丑

低迷の一年。要注意。慢心すると間違点が次々に浮上。賄賂など一発主義に走ると逆効果。大出費し、時勢の吐き出しということも。「管中豹を窺(うかが)う」性向に傾斜。政策は延期して吉。管仲、家族間のきずなはさらに緊張に行き違いから乱調に——。

子

平穏な一年。欲をかくと一転、不調の奈落にも。中は、猿。文字通り「沐猴(もっこう)にして冠す」ことなきよう。財産は将伴の時期、時期二期才益に。財産は将伴の時期、時期二期才益買いの行動は再目に出るはず。身内に草稿の典の報あり。人生の大事の決も必要。夜盛の宵だくみとならねば、吉。

向上期。積果を焦らず、腰を落ちつけての対応、吉。静祝し、熟考し、しかるのちの行動を。眼光紙背に徹する、を心して吉。財運は好調、積み立て形式の根気を要求される運用が安心確実。家族間の意思の疎通のみが懸念事項。窃鉄(せっぷ)の疑いは掛かぬが、正解。